

株主の皆様へ



社長 友野 宏

本日は、住友金属の第87期定時株主総会にご出席いただき、ありがとうございました。

本日、皆様にご説明いたしました、当社グループの経営方針と業績をまとめました。皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

1. 経営の方針

住友金属グループは、「質」と「規模」のバランスがとれた持続的成長を目指します。



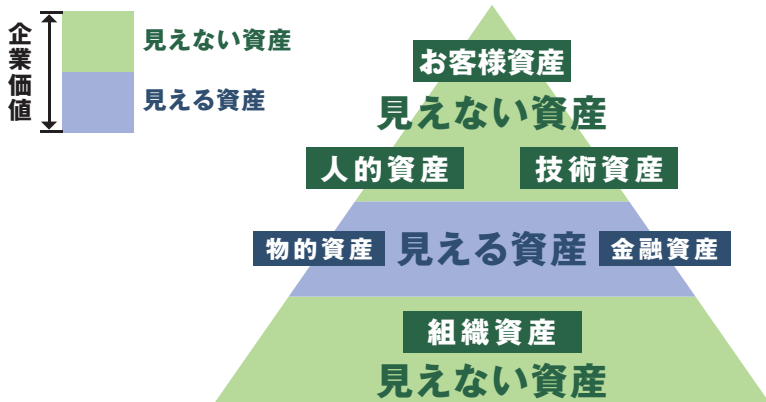
住友金属らしさを追求してまいります。

強いところを「質」と「規模」のより強く バランス重視

「住金らしさ」

差別化の加速

そのためには、見えない資産を磨くことが大切です。



2. 国内製鉄所の強化と海外事業の実行

インド

- 薄板 技術協力・OEM
- 鍛造クランクシャフト事業



インドブーシャン社
高炉一貫製鉄所

日本

- 和歌山製鉄所 新第1高炉稼動
- 特殊管事業所 SG管生産能力増強
- 鹿島製鉄所 大径ラインパイプ増産投資
- (株)住友金属小倉 製鋼設備の革新投資と棒鋼仕上げ圧延機の更新



和歌山製鉄所
新第1高炉

ベトナム

- 薄板事業



酸洗ライン
冷間圧延機
焼鈍ライン
溶融垂鉛めっきライン
電磁銅板製造ライン

年産160万トン

ベトナムでの薄板事業のメンバー

ブラジル

- シームレスパイプ事業

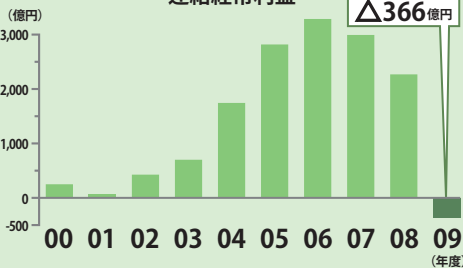


ブラジルでの
高炉一貫
シームレスパイプ
製造工場の
建設現場

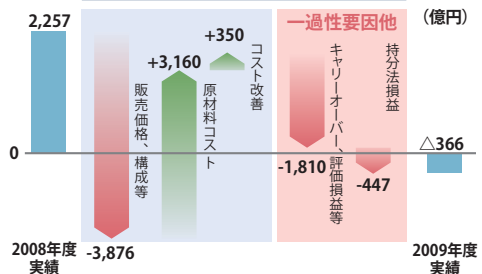
3. 2009年度の業績

原材料コスト低下による収益好転要因の他、コスト改善の成果もあげましたが、販売価格下落や販売構成悪化に加えて一過性要因などにより、大きな減益となりました。

連結経常利益



当期連結経常利益の分析

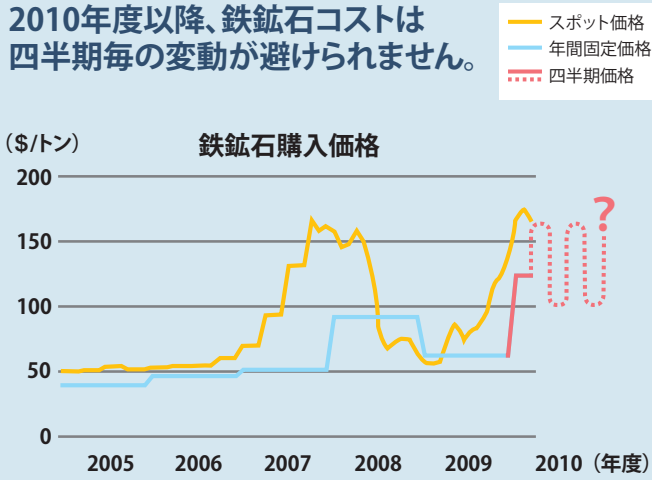


4. 2010年度の課題と業績見通し

4-(1) 課題

原材料市場の環境変化への対応が、2010年度の大きな課題です。

2010年度以降、鉄鉱石コストは
四半期毎の変動が避けられません。

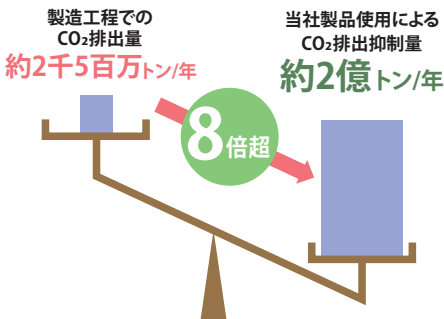


当社の対応

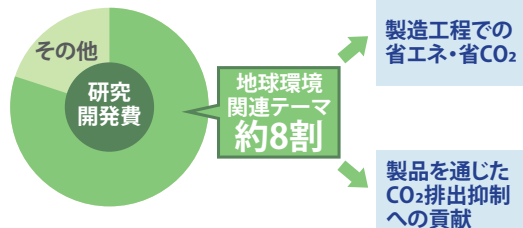
① 鋼材価格への転嫁 ② 鉱山権益取得の検討

技術で地球環境保全に貢献してまいります。

当社グループの製品を通じた
CO₂排出抑制量は、製造工程での
排出量の8倍超です。

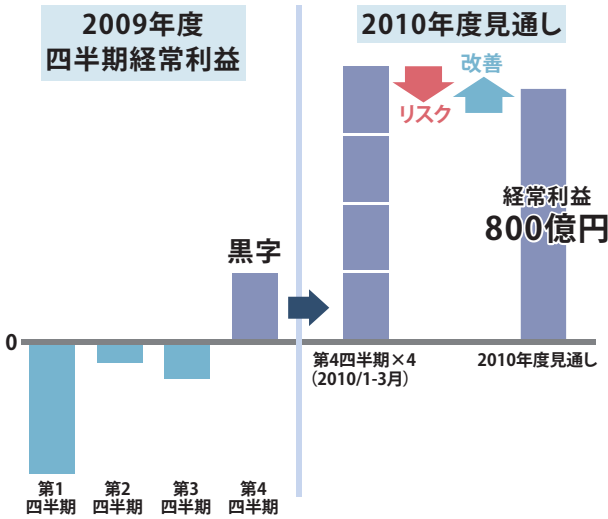


当社グループの研究開発の約8割は
地球環境関連テーマです。



4-(2) 2010年度の業績見通し

様々なリスク要因はあるものの、昨年度第4四半期の収益レベルを守っていくことに、全力をあげます。



4-(3) 配当

安定配当が基本方針です。

2010年度は、様々な不確定要素はあるものの、**年間5円の配当**を堅持する所存です。

5. 持続的成長を目指します

